

(地方創生)政策評価調書(27年度実績)

政策名	基盤を整え、発展を支える	所管部局名	企画振興部	政策コード	IV-4
		関係部局名	企画振興部、生活環境部、土木建築部	長期総合計画頁	175

【Ⅰ. 政策の概要】

広域交通網の整備など地域間競争の基盤整備を進めるとともに、防災など地域の安全性・強靱性を高める。

【Ⅱ. 構成する政策・施策(主な取り組み)の評価結果】

取組No.	政策名	施策名	指標評価	総合評価
①	安心・安全な県土づくりと危機管理体制の充実	災害に強い人づくり、地域づくりの推進	達成不十分	B
		大規模災害等への即応力の強化	著しく不十分	C
		県民の命と暮らしを守る社会資本整備と老朽化対策の推進	達成	A
②	「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実	人の流れ、物の流れの拠点づくり(九州の東の玄関口としての拠点化)	達成	A
		広域交通ネットワークの整備推進	達成	A
		まちの魅力を高める交通ネットワークの構築	達成	A

【Ⅲ. 目標指標】

指標	関連する取組No.	基準値		27年度			31年度	36年度	目標達成度(%)				
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
i 大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域の割合(%) (再掲)	①②	H26	73	73	73	100.0%	76	78	[Progress bars for 25%, 50%, 75%, 100%, 125%]				

【Ⅳ. 指標による評価】

評価	理由等	平均評価
i 達成	H27年度は開通による割合の向上はないが、(都)庄の原佐野線や中九州横断道路など、大分市中心部までの所要時間の改善に資する事業を引き続き推進している。	達成

【V. 施策に対する意見・提言】

○第1回大分県新長期総合計画策定県民会議（H27.5）

・自主防災組織活動実施率や防災士の育成人数も大切だが、有事の際にその組織がどう動くのか、さらに踏み込んだ内容を具体的に行っていかなければならない。

○自民党大分県支部連合会「平成28年度県政予算等に関する要望」(H28.1)

・交通利便性を更に高め、多様な面から交通の要衝としての役割を担っていくためにもバスターミナルを建設し、同時に各都市への高速バスの発着も出来るようにお願いしたい。

【VI. 推進上の課題と今後の展開について】

東九州自動車道の開通により九州全体が高速道路ネットワークで結ばれ、人の流れ、物の流れが活発化している。本州・四国との間を結ぶ多くのフェリー航路を有する本県は、九州の東の玄関口としてのポテンシャルを備えており、人の流れの拠点づくりに向けて、フェリー、バス、航空機など県内各地と県外とを結ぶ交通機関の結節の強化や、物の流れの拠点となるための、交通・物流ネットワークの充実を図っていく。

併せて、南海トラフ巨大地震や豪雨災害等の自然災害への備えを強化するとともに、県民の命と暮らしを守る社会インフラ等の整備と老朽化対策も進めていく。施策名「大規模災害等への即応力の強化」の指標評価が「著しく不十分」となっているが、関係する指標は「津波により孤立する危険度が高い集落への通信手段の確保率」であり、働きかけを行ったものの、年度内の整備には至らなかったものである。なお、28年度中には新たな通信システムが導入されることから、28年度の目標は達成する見込みである。